

「こ」てん コンセプト

みんなで集まり、肩を並べて過ごすはずだった日々
を思いながら
一人で過ごす目の前の日々

家にある古いものは
何層もの時間を重ねて、今ここにある

私たちも時間をかさね大人になりながら
自分（個）を見つめている途中

もっとみんなのことが知りたい
来てくれる方に楽しんでもらいたい
今できる限りの人とのつながり（縁故）を求めながら…

「こ」てんでは「家にある古いもの」をベースに
それぞれの表現を通して目の前の「こ」について考えます
ぜひ、おひとつ「こ」を胸にご覧いただけますと幸いです

会場特別企画：テイクアート

展示会場にて、気軽に味わいお持ち帰りいただけるアート（テイクアート）が全4つございます。ぜひ展示と併せてお楽しみください。

ことば

テイクアウト【take-out】

食堂・料理店などから食べ物・飲み物を持ち帰ること。
また、その料理。用例テイクアウト

テイクアート【take-art】

ぼろっと こぼれた アート お持ちかえり。

語るシルエット

コロナ禍で人との直接のかかわりが絶たれた今、
体の動きによって気持ちや様子を伝える
機会が減っている。

この企画では気持ちや様子を体のシルエットで表現し、
撮影し、人間らしい「語るシルエット」を
見直してみる。
撮影されたシルエットをテイクアートしよう。

FLASH

どの「アート」がとれるかは、あなた次第。
狙いを定めて…、もしくは目をつぶって…、
シャッターを切る。
運命か？ ご縁か？
そんな「アート」との出会いを楽しんでください。

遮るものから繋がるものへ

毎日のように見かけるアクリル板。
どこへ行っても、人と人とが区切られ
仕切られるようになりました。
透明な境界に、自由な世界を描いてみませんか？
あなたと誰かを隔てる板をいちど、
色で、線で、形で彩ってみたら、
見え方が変わってくるかもしれません。

主催：東京学芸大学 笠原広一研究室

お問い合わせ先：koten.tgu(a)gmail.com (a)を@に変えてください